

2018年2月3日に淡路市立志筑小学校において人権サークルしづきっ子の「ネパールについて学ぼう」を開催し、国際交流員はコーディネートとして参加しました。講師として、市内にネパールレストランを経営しているネパール出身のパシユパティさんを招き、子どもたちにネパール文化とチキンカレーとアチャル（漬物）の作り方を教えていただきました。

子どもたちが事前には、それぞれが質問を準備していました。ネパール国旗の形、そして2015年大地震のことや食べ物などについて、積極的に質問をしました。料理の最中には指先で数十種類のスパイスをすこすこすつけて舐める子どもや、試食の時はパシユパティさんのまねをしてアツアツのカレーを手でつまんで食べる子どももいました。「すごいな！こんなにたくさんスパイスでカレーができる」、「初めて手でカレーを食べた！美味しい！」と歓声が上がりました。食べ終わってから手を合わせてネパール語で「ダンニヤバード



コラム  
**人権の眼** No.52

## すごいな！「違い」をもっと知りたいと思えたら。

淡路市国際交流員 **薛秋燕**

（ありがとう）と心を込めて感謝の気持ちや伝えました。子どもたちが真剣に交流している姿を見て、異文化交流の楽しさを実感することができました。

子どもたちは異文化に触れることで、違いを知り、それを尊重しながら生活していくことの大切さを学ぶことができたと思います。このような取り組みを続けることで、さらに外国にルーツを持つっている子どもが、自信をもって日本で安心して学校生活を送ることができるようにも思っています。

淡路市では、三百人以上の外国人の方が生活されているほか、観光の目的で訪れる外国人観光客もいます。日本語以外の言語を話す方々が近隣に住んでいるかもしれません。これから外国につながる方々と出会う機会が増えていく中で、地域の皆さまもつと好奇心をもって、周りの人の違った物の見方を観察して、人として自分が成長していくプロセスを楽しめればと思います。

Pick Up  
**人権** VIDEO  
じんけん **ビデオ**

## 一人ひとりの世界人権宣言

わたしたちは20世紀に二度にわたる世界大戦を経験し、多くの尊い人命が失われました。第二次世界大戦では、兵士だけでなく市民も巻き添えとなり、約六百万人もの人々が命を落としました。このような無差別・大量殺戮の経験から、世界中の人々は、人間の尊厳や人権の重要性をより認識するようになりました。

国際連合（国連）は「人が人として大切にされない世界では、平和の実現は難しい」と考え、1948年12月10日、世界人権宣言を採択しました。この

世界人権宣言は、世界が守るべき人権とは何かをはっきりとさせたもの。つまり、世界中のどこでも通用する人権の共通理解であり、世界中の『すべての人が、いつでも、どこでも、同じように』保障されなければならない権利や自由が示されたものです。

世界人権宣言の前文には、再び戦争を起こさないという思いから、「世界中の一人ひとりの尊厳と権利を認めることが、世界の自由、正義、平和の基礎である」と書かれています。

今年是世界人権宣言が採択されて70年目の節目の年。当時の人々が命の尊厳を願い、二度と戦争を起こさないうための願いを込めたこの宣言を、現代に生きる我々が改めて思うことがあるかもしれません。



■ DVD 本編 39分 21秒 2009年度作品  
【問い合わせ先】  
淡路市市民生活部人権推進課  
TEL：0799-64-2521  
FAX：0799-64-2565

### ●編集後記

このたび4月から新たな担当となりました。突然の広報作成ということで脳内細胞が沸騰して混乱していますが、読者の皆様には少しでも人権に関わるいろんな情報をお伝えできればと思っていますので、今年もどうぞよろしくお願います。

と書きながら思っているのは、「実は文章は他の人に考えてもらってるよね」という軽いノリです。（PA）

第51号のクイズの当選者は次の20名です。図書カードを送ります。（敬称略）

横山礼子（志筑） 玉井花歩（志筑） 清水八重子（志筑） 倉本美紀（中田） 高岡貞美（王子） 岸本舞花（生穂） 新居あけみ（生穂） 岡田三津子（佐野） 池田卓代（下田） 引野誠（仮屋） 金崎光子（大磯） 杉岡清治（浦） 長野雅美（岩屋） 前羽慶子（岩屋） 竹村和代（浅野南） 丸一瑞穂（育波） 濱田義明（室津） 井上久香（井出） 菅谷碧人（入野） 瀬島友紀子（草香）

※正解は、「マイノリティ」。  
応募総数は、74通でした。